

銀座水族館(七つの海の魚および水産切手)



—31—

三崎出張所 神原 勇

マッコウクジラ

分類 鯨目 齒鯨亜目 マッコウクジラ科

学名 *Physter catodon*

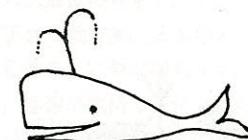
英名 Sperm whale

マッコウクジラは垂直に切り上った頭部前面と、体長の3分の1にも達する大きな頭部（眼と胸鰓の付け根の中間から前方にあたる部分をさす），他の鯨類には見られない特異なる下顎，噴気所謂汐吹きは45°斜前方へ約3～4 m吹き上げる等より他の種属より容易に識別される。

鯨類は大きく分類するとヒゲクジラ類と歯鯨類とに分れ、ナガスクジラ、シロナガスクジラ、イワシクジラは前者に属し、マッコウクジラは後者に属する。本種で最大体長のものは雄で約19m、雌で約17mのものが記録されているが、捕獲されているものの最大は雄で16~18mで、雌は11~13mと小型である。

マッコウクジラの大きな特徴となっている下顎には、直径約10cmにもなる大きな歯が両側あわせて40~56本生えているが、上顎にはこれがはまり込むようなソケットがある。両者がよくかみあうようになっている。胸鰓は体長の割には小さく団扇（ウチワ）のような形をしている。体色は全体として濃い青味をおびたネズミ色又はグレイで、腹部及び口の周辺はやや淡い。成熟老化するにしたがい、老白化現象が見られる。アメリカのメルヴィルの海の叙事詩「白鯨：モヴィ・ディック」の主人公はマッコウクジラの老鯨とされているが、白子（albino）と思われる白色のマッコウクジラを捕獲した記録もあるので、或いは白子とも考えられるが物語の構成から見れば老成した一匹狼？（離れマッコウ）の老鯨の方がふさわしい。（白子であるならば眼は赤又は淡色でなければならない）

大きな頭部には蠟分を多量に含んだ脳油が前額部にあって体温のあたたかいうちは透明な油脂で常温で白濁する。「アメリカの19世紀の捕鯨業者は脳油を精液と考え



マツコウクジラ

分類 : 魚目 蓬鰐亜目 マツコシクジラ科

学名：*Physeter catodon*

英名 : Sperm whale

北氷洋アユ除く全海域に分布・回游性スレ。高緯度に回游するハギ雄テ、ヒメハギの後近マヅシカ回游サ。脂油ヲ持ツ巨大丸頭部ハ長矩形テ、体長ノ3分の1前後メル、下胃貯食量大約幅がセマリ 20~28本ノ歯が生エライク、上歯列ハコレヲ修正メルソケト状ノモガアル地痕跡溝ガアル。胸鰭ハ小サリ背鰭脛から尾鰭脛ニカケテ一一致ト高マツタ部分ガアル。月牙門ノスクイ前方ニ黒點若干皮膚、隆起ガアル。体長ハ 18m 程ニ達スルが雄 1 分が大キイ。体色ハ全身灰色テ灰青色や灰紫褐色モノモアル。体色ハ年令ト共ニ白色化スル。主食ハイカ類ジノリ地魚類魚類ヲモ捕食スル。嘔気ハ斜前方 45° 方向ニ吹キ上げソリ高サハ 3~4m テアル。



豪銀而極 - 1973 -



「スノージャンボ」 - 1956 -



南アフリカ -1963



サンエイレコード -1969-



南洋学报 1971-